

どばしほのか 個展

DOBASHI Honoka solo exhibition

KUNST

ARZT

www.kunstarzt.com

あなたが眠りについたころ あの鳥は

When you fell asleep, that bird was

KUNST ARZT では、学外初個展となる、

どばしほのかの個展を開催します。

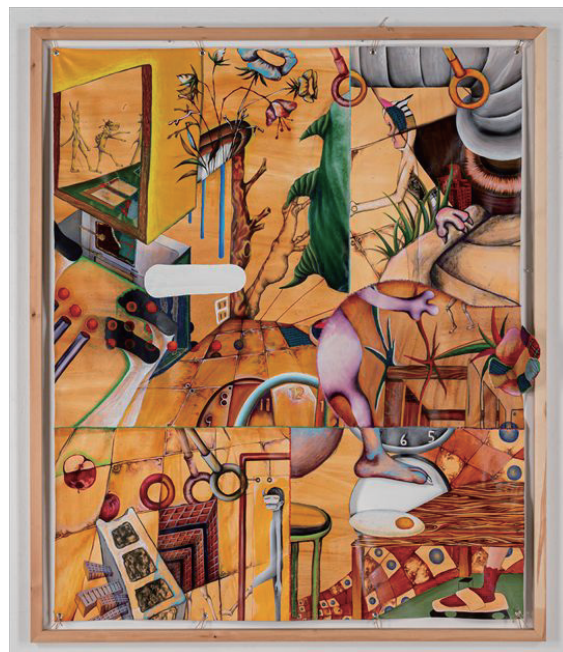
どばしほのかは、現実と説明のつかない世界との境界を、油彩とぬいぐるみで表現するアーティストです。

3次元としてのぬいぐるみ、キャンバスに穿たれた穴やキャンバスの裏側への描写は、その境界を表現することにつながります。

まさに鑑賞者はその境界線 / 裂け目に立たされることになります。

本展では、鳥をモチーフに飛び出し絵本の一場面のような展示空間を構想しています。

(KUNST ARZT 岡本光博)



生えてきたつくりごと #8

2024

キャンバスに油彩、クレヨン、
木炭、糸、布、綿、木

1875×1560mm

経歴

2002 鳥取県出身

2025 成安造形大学 / 芸術学部 / 芸術学科 / 美術領域 / 洋画コース 卒業

2025 京都市立芸術大学 / 美術研究科 / 油画専攻 在学中

個展

2024 「生えてきたつくりごと」美術領域選抜個展 vol. 48 成安造形大学ギャラリーキューブ

グループ展

2025 成安造形大学卒業制作展 2025 京都市京セラ美術館

2025 第28回岡本太郎現代芸術賞展 川崎市岡本太郎美術館

2025 年 9 月 9 日 (火) から 14 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

どばし ほのか 個展

DOBASHI Honoka solo exhibition

KUNST

ARZT

www.kunstarzt.com

あなたが眠りについたころ あの鳥は

ステートメント・展覧会コンセプト

私は日常生活の中で、現実と説明のつかない世界との境界、あるいはその裂け目にふと立たされたときの感覚に着目して制作をしています。

私は幼い頃から、現実から離れる“スイッチ”のようなものに惹かれています。たとえば人形遊びでは、身体は現実にありながらも意識は空想の中に没入し、現実から一時的に離れる感覚があります。このように、「今ここ」と「どこかあちら側の世界」の間に立つような感覚は、今もお日常生活のふとした瞬間に感じることがあります。街路樹の木目がたくさんの目に見えた時、奥の見えないトンネルの前に立った時、あそこの電線にだけ鳥が集まっている時、暗い窓の外からフクロウの声が聞こえる時など、日常の中で「今ここ」がわずかに歪む瞬間に現れます。

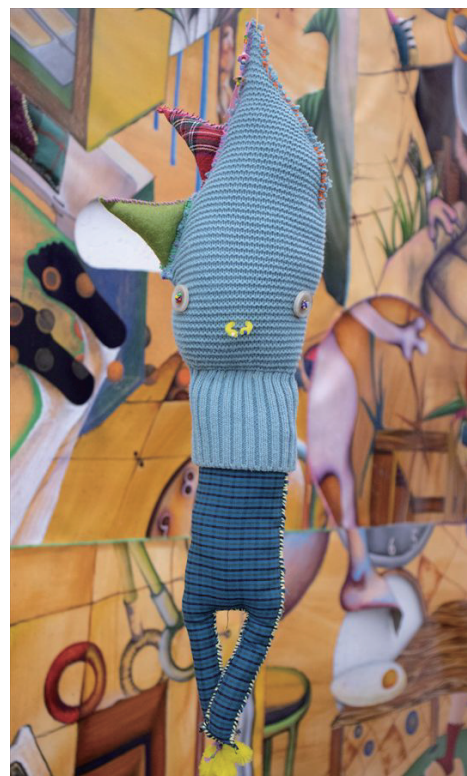
日常の中のさりげない行為があちら側の世界への敷居を跨ぐような行為に変わるスイッチを探しています。その曖昧で不確かな感覚を、油彩とぬいぐるみ、それらを組み合わせて表現することで現実が歪む気配を探っています。



成安造形大学
卒業制作展2025
展示風景



京都市立芸術大学
油画専攻前期展2025
展示風景



ぬいぐるみ
2024
布、糸、綿
530×160mm